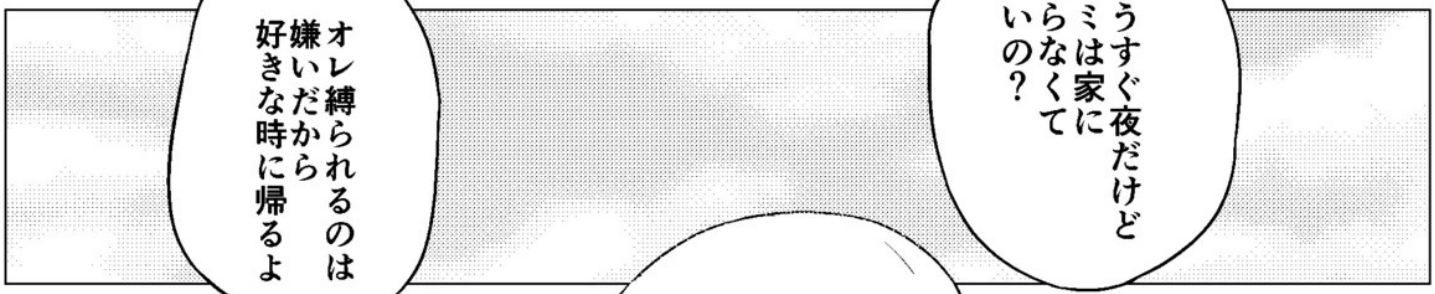
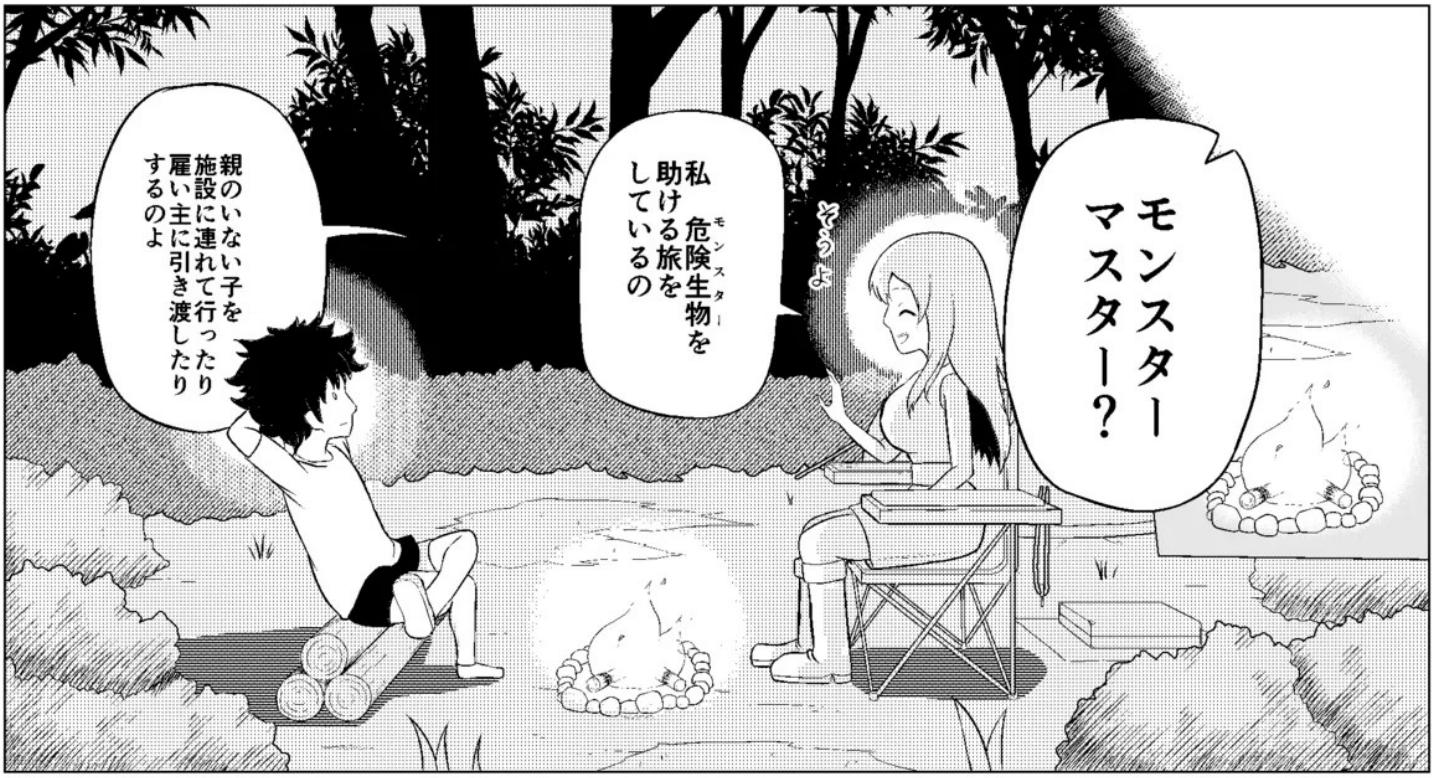
熟睡お姉さんを
犯したショタは
セレナさんッッ
逆に搾られて
快楽落ちする
荷物持ってくれて
ありがとう
疲れてたの～
こんな荷物
へっちゃら
住吉大吉

荷物持ってくれて
ありがとう
疲れてたの～
こんな荷物
へっちゃらさ！
ぴょ
んっ


もうすぐ夜だけど
キミは家に
帰らなくて
いいの？
オレ縛られるのは
嫌いだから
好きな時に帰るよ

速く行こうよ
お姉さん！
まだお姉さんです！

オレはテオ
見知らぬ美人を見つけて
荷物運びを手伝って
いるところだ
セレナ


モンスターマスター？
そうよ
私 危険生物（モンスター）を助ける旅をしているの
親のいない子を施設に連れて行ったり雇い主に引き渡したりするのよ

へぇ～
確かに危険生物って世界中にいるっぽいけど助けたら儲かったりするのか？

おばさんにとって危険生物っていい商売道具なんだね？

商売道具・・・か
間違ってはいないわ

でも　そんな
極端な話じゃないのよ
危険生物（モンスター）の
役に立ちたくて
旅をしているだけよ
役に・・・
立ちたい？
危険生物（モンスター）は
その姿や能力だけで
町から追い出されたり
差別されているの
私は彼らの
話を聞いて
差別を食い止めたい
でもどうせ
怯えて逃げられるに
決まってる
危険生物（モンスター）も
人間と共存できるような
世界にしたいの

きっとできる！
やればできるわ！
危険生物を
対等に扱おうと
する人なんて・・・
初めて会ったな
悪いおばさんじゃ
なさそう
それに・・・
いいカラダも
してるしな～
おっぱいデカい
ケツもでけ～
どんなパンツ
履いてるんだろう？
プ
ン
ぷ
るん

そうだ
ご飯持って
帰ってよ？
リュックに
入れてたから
あげるね
！
ヒョーン
いいことを
思いついたぞ・・・
ごそ
ごそ
すっ
くらえ!!
ジィイイイ

すや
すや
ぱたっ
ぱっ
おねんねの時間だよおばさん
ズズズズズズ
ざっざっ
さぁて待ってたぞ
ザントマン
睡魔の危険生物
テオ

ドクン
ドクン
ドクン
これだよ
このスリル
最高だ

どんな
パンツ
履いてるんだろう?

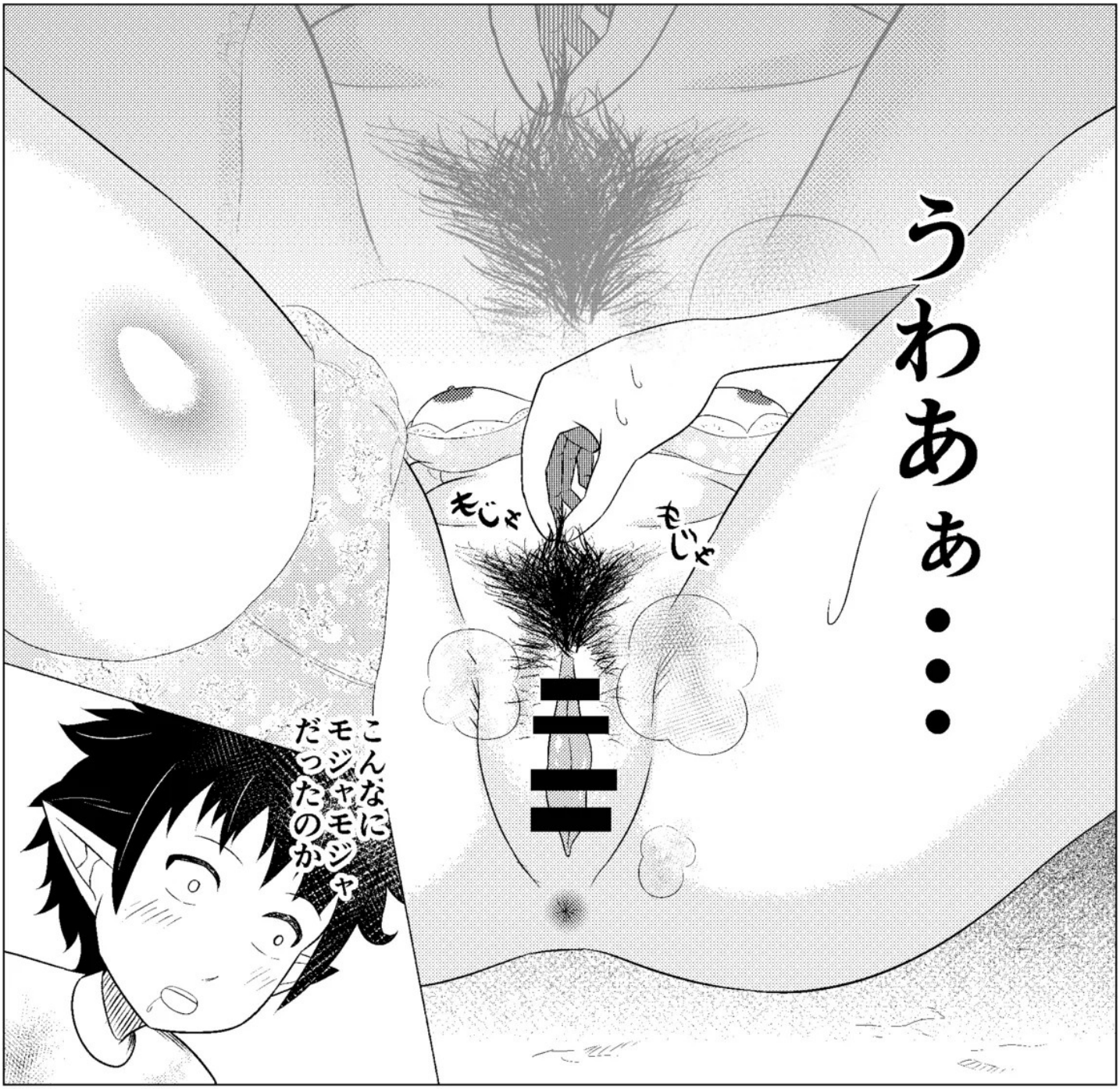
すっ

しまの

すげぇ
エロそうな
パンツ
次は…

しまの

ぷ
ぅ
す
っ
す
っ
ぺ
ぺ
ずるっ
ぱ
か
っ



大人の股間を見た少年は・・・

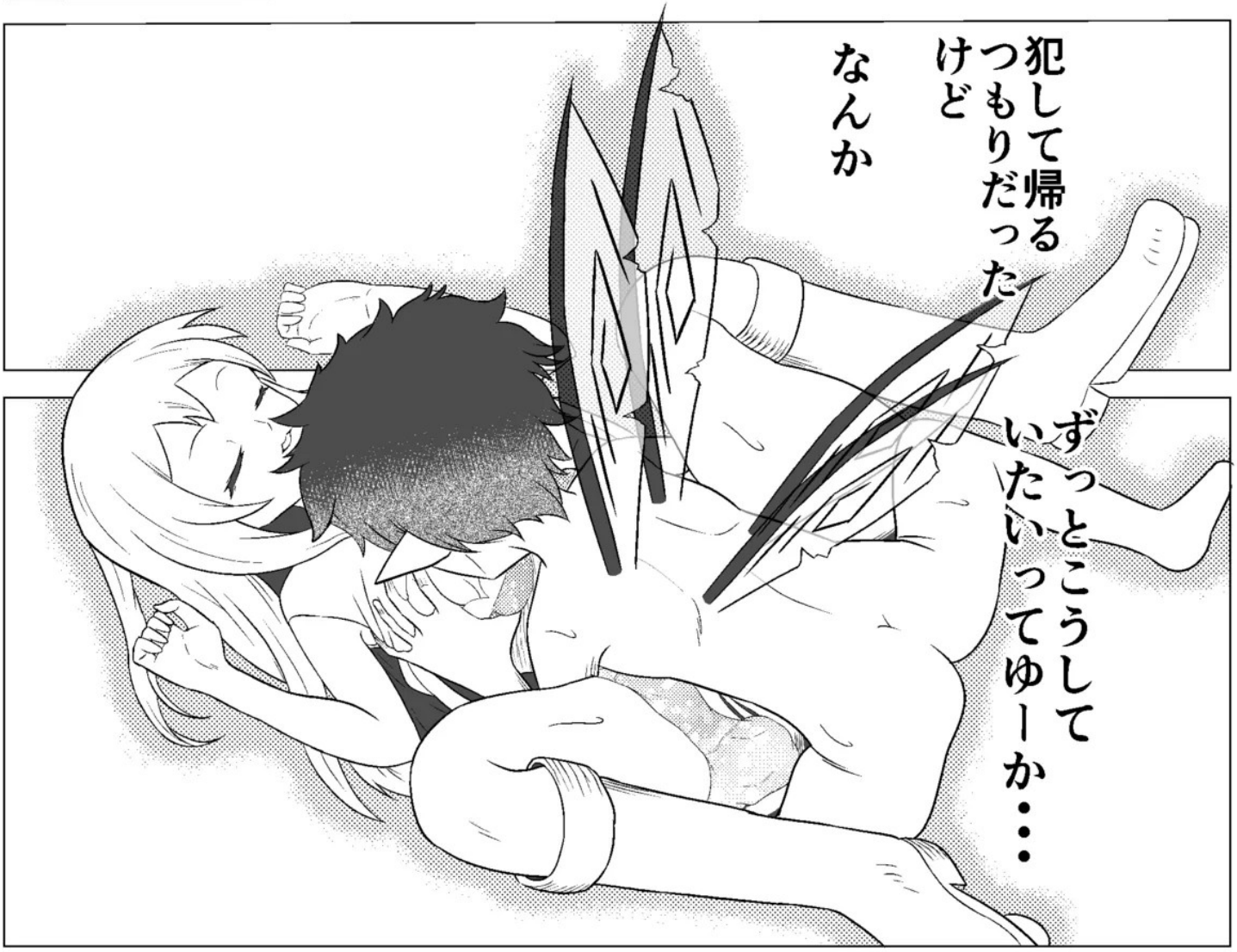
自然に次のことをしていた・・・
ぺろ
ぺろ
エロいな
おばさんの
女ちんこ
くちゃっ
ずずっ

そろそろか・・・
ずるっ

ぐぐぐ・・・

挿入れても
寝てる…
ズッ
ズズッ
ズッ
すや
すや
ズッ
ズッ

あれ？
おばさんって
あったかい

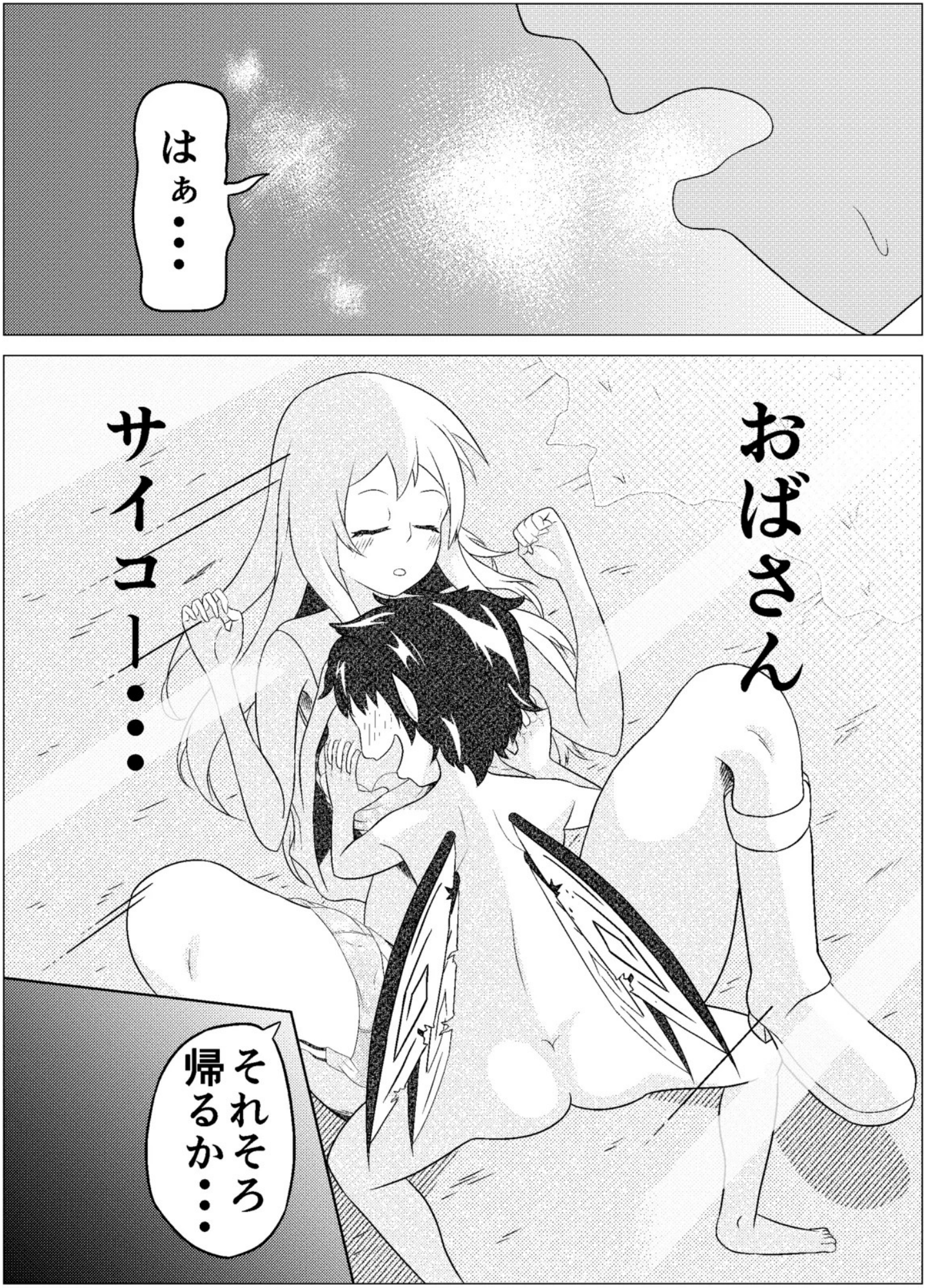

犯して帰る
つもりだった
けど
なんか
ずっとこうして
いたいってゆーか・・・

寝てるだけなのに
ぎっ
ぎっ
ぎっ
搾り取ってくるッ！
こんなババアまんこに
ズプッ
ズブ
ズン
ズン
負けてたまるか！

もう出そうだ
ビキ
ビキ
すや
すや
くそおッ・・・！
強すぎるッ・・・！

オレが
オレが犯すんだ
ズッ
ズッ
ビリリ
キッ
ダメだアアアアアアアッ！
ブル
ブル
おばさぁアアアアアんッ！

ビュ
ぴゅ～っ
ぴゅ～っ

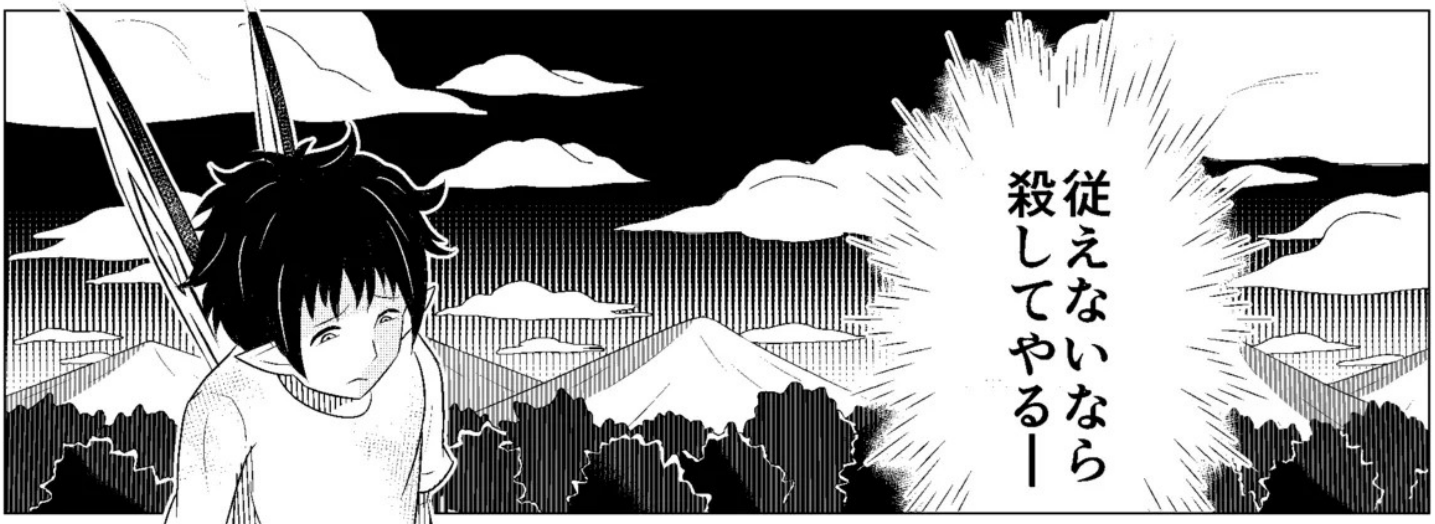

はぁ・・・
おばさん
サイコー・・・
それそろ帰るか・・・

ーその後
某廃墟にて
ただいまー
遅かったな
どこにいた？
訓練は
してたのか？
お姉さんを
犯しまくりさ
よろしい
それなら
うちにいる
価値がある
弱者に仕事は
ないからな
ズ
ズ
ズ
ズ

親のいないお前を育ててやったんだ
催眠術でいい仕事をしてもらいたいものだ
はいはい
さて今回の仕事だが・・・
ぴぴっ
なんで
おばさんが・・・
昨夜この女と町で話した客から依頼があってな
この女とヤリたいとのことだ
お前がー

拉致(さらっ)てこい
おばさんを
拉致(さら)うなんて
駄目だ！
逃げたぞ！
…
やれ

怯えたか？
逃げようなんて無駄だ
一生うちの商売道具になるんだよお前は
ぐっ
その人生(いのち)ー
組織(うち)に使い続けさせてやる！
カッ
ブル


従えないなら
殺してやるー

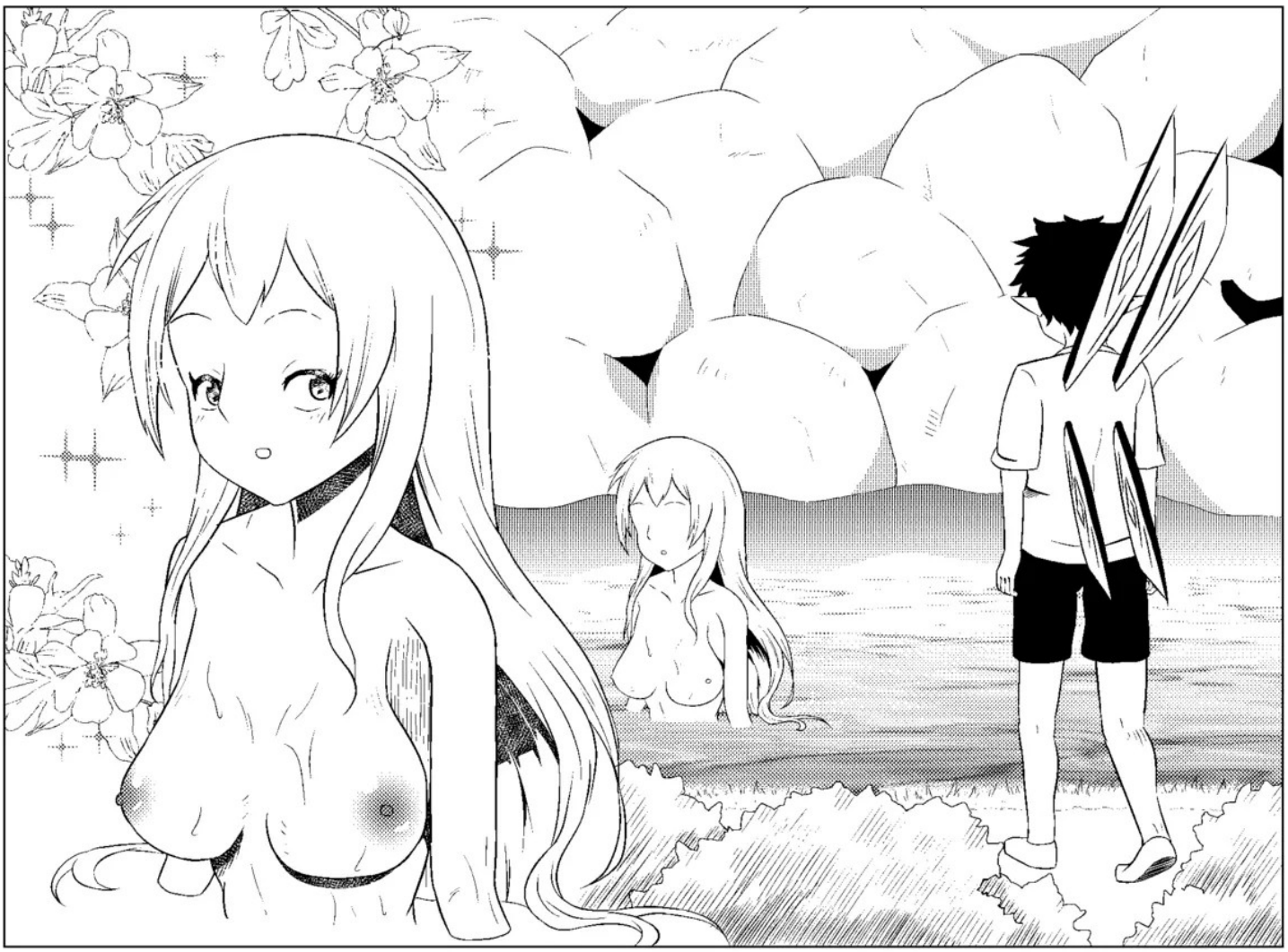
おばさんは
この道を必ず通ると
組織は言った

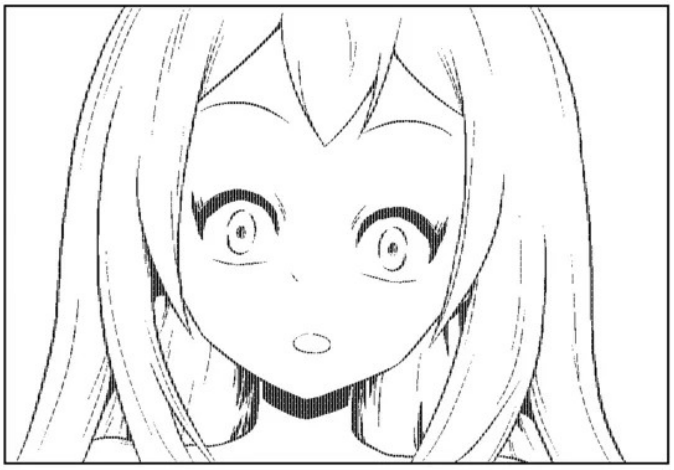
組織に縛られて
生きてきたけど
おばさんとエッチして
初めて暖かい気になった

任務を無視したら
殺されるでも・・・
おばさんは
見逃した方が
いい気がする

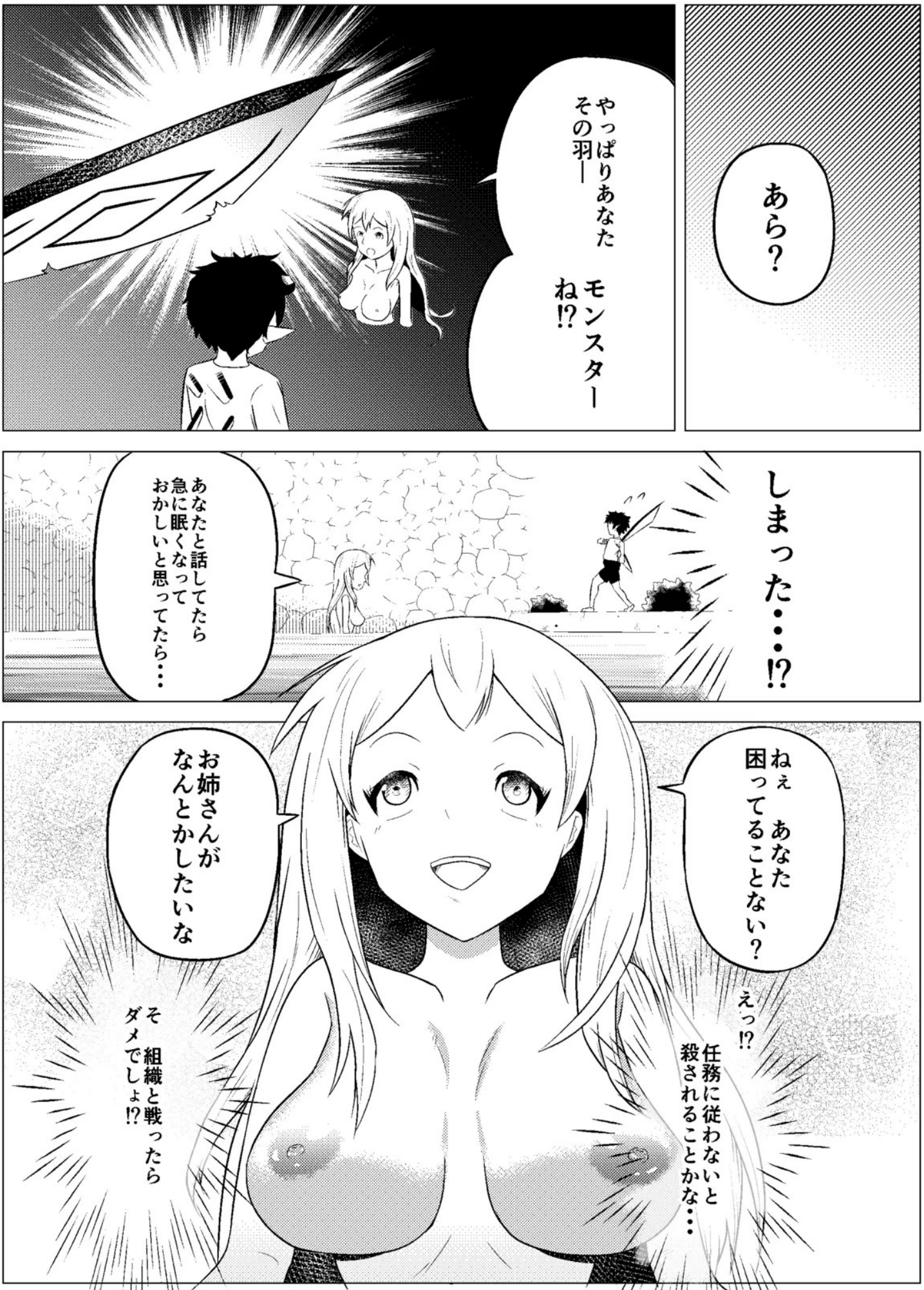
見当たらない
ってことは
もう行っちゃった
んだな

あぁ
よかった・・・





なっ
なんでここに!?
森を出ても
泊まる施設
ないから
野宿しかない
と思って・・・


あら？
やっぱりあなた
その羽ー
モンスター
ね!?
しまった・・・!?
あなたと話してたら
急に眠くなって
おかしいと思ってたら・・・
ねぇ
あなた
困ってることない？
えっ!?
任務に従わないと
殺されることかな・・・
お姉さんが
なんとかしたいな
そ
組織と戦ったら
ダメでしょ!?

ダメだッ
何しても
この人が着いてきそうだ
自分の命と任務
どっちを選ぶか・・・
もう分かん
ねーッ
パッ
えっ
!?

何だったんだ…？
!?
ぷか
ぷか
おばさん!?
これは寝てる…!?
まさかさっきの光
新しい力(さいみんじゅつ)なのか!?

さっきの力
すごく強そうだったぞ
ばしゃっ
もう目が
覚めない
なんてこと
ないよな・・・？
でも
エッチをして
もっと一緒に
いたくなった
んだ！
おばさんを
見逃したいよ・・・!!
でも組織からは
逃げられない!!
もうダメ
なのか・・・？
オレ
最初は
おばさんのこと
馬鹿にしてたよ

…できるわ…
!?
ぱ
ちっ
きっとできる…
やればできるわ…

この言葉
あの時の・・・

きっとできる
やればできるわ！

この言葉ね・・・

アファーメーションって
言うんだぁ・・・

アファーメーションとは
自己暗示により
潜在意識に
働きかける手法である

セレナは
眠らされても
目覚めるように

強い意志を
自分に
刷り込んで
いたのだった

じゃあおばさんが
目覚めたのは

モンスターを
救いたい意志が
催眠よりも
強かったから

すごい人なんだな・・・

―その後オレは
お姉さんに組織のこと
任務のことを話した

おばさんは
静かに聞いてくれた

そして・・・

そして・・・
行くよ・・・
ぐ
ぐぐ

そうだ
その前に
聞いておき
かったんだ

何？

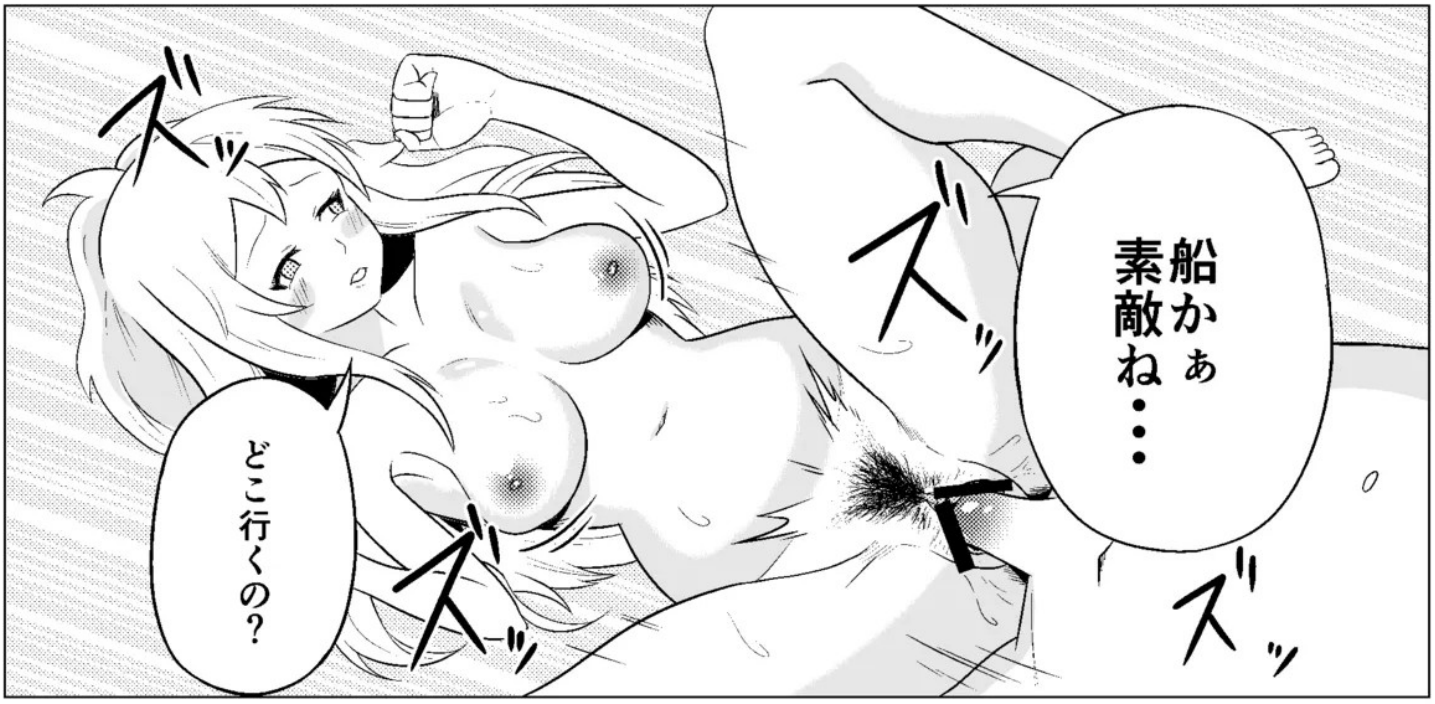
おばさん
名前なに？
にこっ
ぱっ
セレナよ…
あっ

セレナさんッッ!!

なんかすごく揺れてるね・・・
これ　なにをやってるのぉ・・・

セレナさんひょっとして―
半分寝てる・・・？

アファーメーションが完全に効いたわけではないんだなだったらー
そうだよ！船で海を渡っているんだ
今は旅の途中だよ
ズッ
ズッ



オレ
決めたよ・・・
組織は抜けるから・・・

セレナさんの
役に立つから・・・
さぁ
いって・・・！

ふっ
くっ…♥
びくっ
びくっ
ハァ…
ハァ…
ハァ…

セレナさん
そろそろ組織から
逃げなきゃ
あれ？もう
行っちゃうの？
じゃあちょっと
トイレ行ってくるね！
あっ
うん
え？
ちょっと
セレナさん!?

ここのトイレ
ちょっと寒いね・・・
催眠術が
長く効きすぎて
大変だった・・・
しまったァァ
ァァァッ！
じょ
お
ニ
お
お
あれから
オレは
施設で暮らす
ことになった
あの組織は
セレナさんの
仲間たちが
解体したらしい
ほか
ほか
ぱ
ちゃん
オレはもう過ちは
繰り返さない
そう誓った